

2009年度

科目名	文学理論			
担当教員	東 典幸			
配当	日文2		コード	54140
開期	前期	講時	金曜日4限	単位数 2
授業テーマ	埴谷雄高を読む。			
目的と概要	文学独特の思考にもとづく論理にふれる。			
成績評価法	教場レポート、平常点。			
テキスト	プリントを配布する。			
参考書	埴谷雄高『死霊』(講談社学術文庫)			
履修に 当たっての 注意・助言				
講義計画				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1、戦後文学と「近代文学」。</li> <li>2、本田秋五。</li> <li>3、戦前の埴谷雄高、転向とカント体験。</li> <li>4、『不合理ゆえに吾信ず』自同律の不快。</li> <li>5、『死霊』第一章前半。</li> <li>6、精神病院。</li> <li>7、『死霊』第一章後半。</li> <li>8、『死霊』第二章前半。</li> <li>9、監獄。</li> <li>10、『死霊』第二章後半。</li> <li>11、埴谷雄高の文学理論。夢。</li> <li>12、ドストエフスキー「大審問官」。</li> <li>13、吉本隆明「マチウ書試論」。</li> <li>14、埴谷雄高の政治論。</li> <li>15、まとめ。</li> </ol>				